

菊川市環境基本計画(案)への意見募集結果

1. 意見募集期間 平成 21年 12月 1日 ~ 12月 18日
2. 意見提出者数 2人
3. 提出方法 直接持参(1)、電子メール(1)
4. 意見数の内訳 7件
5. 意見の概要及び意見に対する市の考え方

	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	自動車を使用せず自転車を活用することによる健康促進と二酸化炭素削減の取り組み活動についての提案	自転車の活用につきましては「第4章第2節2 快適な生活環境の確保」の中の「環境負荷の小さい交通手段などの利用促進」の項目で述べておりますが、ご提案のように自転車を活用した具体的な活動については今後の取り組みの参考にさせていただきます。
2	ここでなぜ地球規模での環境問題を取り上げなくてはいけないのでしょうか。この計画は菊川市の計画であるから、この章の環境の現状と課題については菊川市のことのみで良いのではないのでしょうか。菊川市の環境問題が県や日本、世界の環境問題に影響すると言うのであれば、第1章あるいは第2章、第1節で軽く触れるだけで良いのではないですか。	環境問題については菊川市だけでなく、世界、日本全体と菊川市のつながりが重要であるとの見解から、第2章の第1節に世界や日本全体と菊川市の概況、第2節に菊川市の環境の現状と課題を節に分け、行政を含め市民の皆さんが地球規模の考え方で環境問題に取り組むことを前提としてもらうために、このような構成としております。
3	各基本方針の中にある「～したい」、「～たい」という表現は小学生の作文のようで、このような計画の中で使うこととしてはふさわしくないのではないのでしょうか。また、「～したい」とか「～たい」と書くと思っはいるけどできるかわかりませんと言っているようで積極的な印象を受けません。	各基本方針には副題を設けております。その副題の表現については、環境基本計画を策定するに当たって市民の意見を取り入れていくために、市民、事業所からの参加希望者により構成された環境市民会議を開催し、基本的な方針や今後取り組んでいく方向性などを話し合ってきたなかで行政の実行する姿勢だけでなく市民、事業者との協働による取り組みの計画としていくためにも「～したい」という表現を取り入れております。

4	<p>これは期待される取り組みであって、市民や事業者に同意を求めたり、同意が得られたわけでもないのに「参加・協力します」とか「取り組みます」、「努めます」、「守ります」とあたかも市民、事業者が約束したような表現はおかしくないですか。少なくとも、私は約束した覚えはありません。</p>	<p>環境基本計画を策定するに当たって市民の意見を取り入れていくために、市民、事業所からの参加希望者により構成された環境市民会議を開催し、環境保全のために取り組んでいくことなどを話し合ってきました。</p> <p>市民・事業者に期待される取り組みについては、環境市民会議で市民や事業者が中心となって取り組んでいくことを話し合っていたいただき、そこで話し合われた内容を基にして、行動することを取り決めたものではなく「指し示す」ことや「目標とすること」という考えにより、期待される取り組みとしてまとめたものであります。</p>
5	<p>家庭から出る生活排水の浄化が上げられていますが、生活排水の排出先にも目を向けてほしいです。農村集落では農業用となっている用水に生活排水が流されているところがあります。これでは用水路なのか排水路なのかわかりません。用水路と生活排水を流す排水路を区別して管理する必要があると思います。</p>	<p>農業用水と生活雑排水が分離されていない状況については、ひとつの課題として認識しております。合併浄化槽設置の普及促進や、家庭や事業所における生活排水対策に関する講習会等を活用し、水質浄化に向けた情報を提供しながら生活排水の水質浄化への取り組みを行っていきます。</p>
6	<p>ため池の維持管理しかあげてありませんが、ため池の水質浄化にも取り組むべきではないでしょうか。丹野池を魚の住める池にするとか、前岡池への生活雑排水の流入を防ぐなど必要ではないでしょうか。</p>	<p>農薬や化学肥料の適正な使用の推進の啓発と、合併浄化槽設置の普及促進を図りながら水質浄化への取り組みを行っていきます。</p>
7	<p>前までは歴史、文化には触れていないのにここでいきなり文化財の話が出てくるのはおかしくないですか。環境と文化財のどこに接点があるのでしょうか。</p> <p>何でもこの計画の中に盛り込んでおいて、将来の様々な事業（環境に関係ない事業も含めて）実施のための理由付けのためにこの計画を利用しようしているように見えます。</p>	<p>快適なまち、魅力あるまちの生活環境を守り育てそのような暮らしを実現していくためには、地域に根ざした伝統文化や史跡、文化財施設を再認識し活用していくことが重要であると考えております。</p> <p>第2章でも触れていますが、菊川の歴史・文化資源を将来に生かしていく姿勢を示していくことは、地域の環境を大切に今後も住み続ける地域の良さを守っていくことにつながり、快適な生活環境を保持していくことになるとの考えから、歴史・文化を活かしたまちづくりの促進を取り入れております。</p>